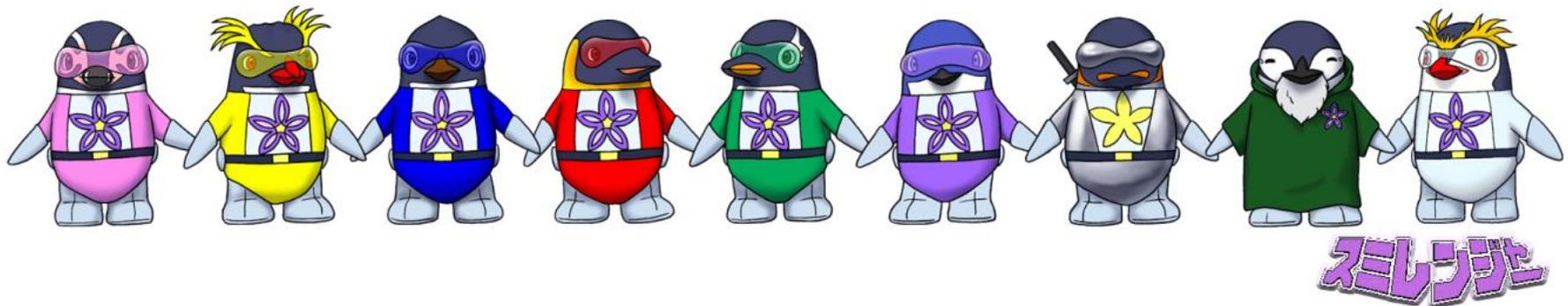


# 地域ごとのまちづくり計画

(宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会「コミュニティすみれ」)



令和2年(2020年)3月策定

## 目 次

【はじめに】 .....	1
【現状と課題】 .....	1
【 <sup>まち</sup> 地域の将来像】 .....	5
【基本目標】 .....	6
【具体的な取り組み】 .....	7
【あとかぎ】 .....	10
【資料】 .....	11

【はじめに】

すみれガ丘小学校区は宝塚駅の北方向、中国自動車道以北、中山山系の西の端に位置し、阪神地区のベッドタウンの一つとして開発され、宝塚御殿山北地区が1975年から、すみれガ丘地区が1990年から入居が始まった比較的新しいまちです。戸建て住宅からなる宝塚御殿山北地区と、大規模マンション群からなるすみれガ丘地区を中心とした、緑あふれる閑静な住宅街となっています。山の中腹に位置するマンション群は中国自動車道や大阪方面からよく見え、さながら宝塚市のランドマークの趣があります。コミュニティすみれでは1997年の発足以来、『まちづくりは顔の見える関係づくりと、人の集まる環境づくり』をモットーに参加諸団体の皆様とともに、日常諸活動やイベントを続けてきています。このたび、住人の皆様の思いを聞きながら、基本に立ち返ってまちづくりを見直すとともに今後の方向性について検討いたしました。

【現状と課題】

コミュニティすみれは、すみれガ丘1～4丁目と御殿山4丁目の中国自動車道以北の地区で構成されています。この地域の人口は、2012年頃にピークとなり、以後減少傾向にあります。年代別にみると、14歳以下の子どもが減少し、65歳以上の高齢者が増えています。一方全体の人口分布を見ると、65歳以上の占める割合は確実に増え続け、これまでのような状態が続くと、10年後には約39%、20年後には50%以上という高齢者のまちなになることは避けられない状況です。

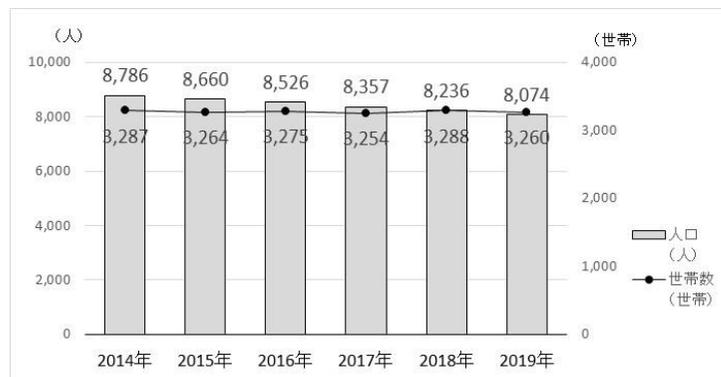
これらを踏まえると、「すみれは子育てしやすいまちなので、子育て世代が移り住みたいと思えるまち」「高齢になっても、一人暮らしになっても、安心して住み続けられるまち」であることが、この地域の最大の課題だと言えます。

65歳以上の人口割合の推定

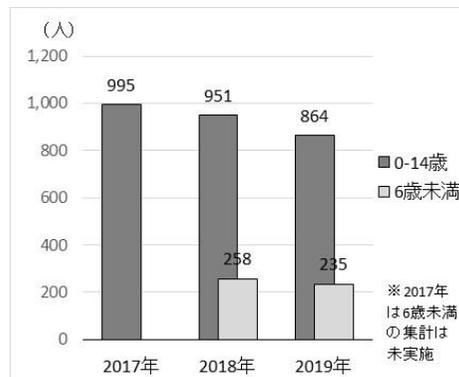
	2019年 * 1	10年後 * 2	20年後 * 2
すみれガ丘小学校区	20.14%	約39%	50%以上
市全体	27.43%		

\* 1：2019年3月末現在のまち協別集計データ  
\* 2：過去5年の人口変化が継続したと仮定した場合

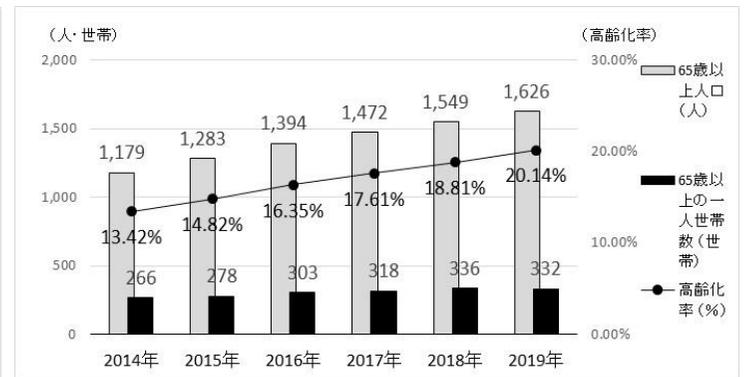
すみれガ丘小学校区の人口・世帯数の推移



14歳以下の子どもの数の推移



65歳以上人口・世帯数・高齢化率の推移



資料：各年3月末日 住民基本台帳（まち協別集計）

また、安心・安全なまちづくりの重要な柱である「防災」に関しては、コミュニティを構成する2つの自治会、ラ・ビスタ宝塚団地自治会および宝塚御殿山北自治会がそれぞれ対応してきた経緯がありますが、自治会間の相互連携等まちづくり協議会としての対応が必要であり、その仕組みづくりが喫緊の課題となっています。

以上の状況を考慮し、今回のまちづくり計画の見直しにおける重点課題を、

- (1) 子育てしやすいまち
- (2) 高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち
- (3) 災害に強くみんなで助け合えるまち

の3点とし分析、検討を始めました。

### ■検討の経過と『従来のまちづくり計画と今回の重点課題の関係性』

まず実施したのは平成17年に策定された現まちづくり計画の実施状況の確認です。平成30年2月に29名の参加者により実施状況を確認しました。(資料表4参照) 当時計画された多くの活動が実行に移され現在実施中であることがわかりました。

次に子育て中、また子育てを終わったばかりの保護者の方々から「こんなことがあったら子育てしやすい」というテーマで、高齢者・障がい者の方々からは「住み続けるために必要なこと」についてご意見をいただき、それらを踏まえてアンケートを実施しました。アンケート結果については右に一部を紹介します。

子育てについては「居場所づくり」、安心して住み続けるためには「人とのつながりや見守りの仕組み」が必要と考える人が多いとの結果が出ています。

次に、平成17年版計画における基本目標と中心課題を簡潔化して表示し、現在実施中の活動を表1にまとめました(縦軸)。続いて、今回の重点課題(上記(1)、(2)、(3))ごとに活動項目を仕分けしてみました。さらに、子育て世代や高齢者から頂いたご意見の主なものを、新しいニーズとして追加して表示しました。また「高齢者が安心して暮らせるまち」「災害に強くみんなで助けあえるまち」についても表1に同様に表示しています。

表1は現状の活動を、今回取り上げた3つの課題を切り口として、新しいニーズも含めてとらえなおしたものといたします。表1により現状の活動と将来の目標を関連付けて表示することができ、具体的な取り組みの検討がやりやすくなりました。

アンケート調査結果(一部)

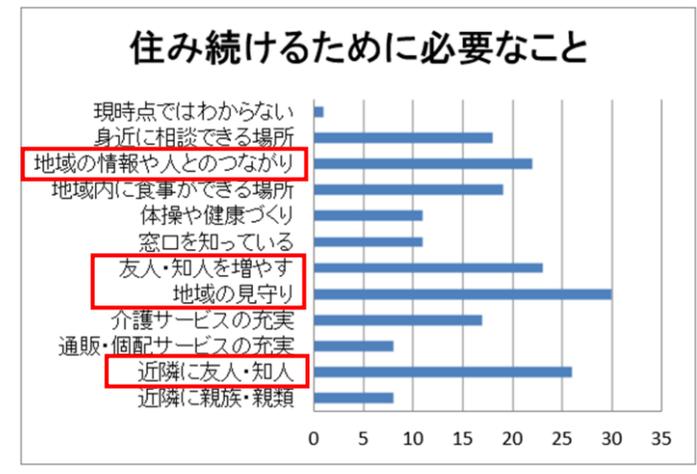
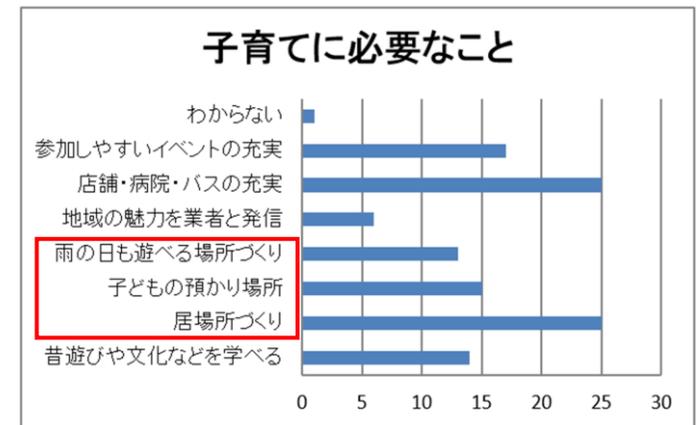


表 1 現行まちづくり計画実施状況と重点課題との関係

注: ■文字は先進的な活動

重点課題	現行活動					新しいニーズ	活動を継続する上での課題・リスク	新しいニーズに対応する・活動を継続するための条件
	共生の歌が聞こえ、花と緑に包まれた眺望のまち							
	基本目標	歌声が聞こえ、あいさつがあふれ、ふれあいを大切にするまち	明るく未来に羽ばたき、人にやさしい思いやりのあるまち	安全で安心して暮らせる快適なまちづくり	自然と共生する美しく豊かなまち			
中心課題	顔の見える関係づくり	福祉の仕組み作り	安心安全	緑化活動と美化活動				
子育てしやすいまち	あいさつ運動 異世代交流の諸活動 盆踊り、フェスティバル、諸祭りを通じたふれあい ■地域が協力する諸教育活動 自治会の主催する棟別、地区別イベント		市内一斉防犯活動 地域防犯パトロール ■学校との連携 ■諸見守り活動(PTA、学校応援団、民生児童委員補導員など) ■コミュニティスクール 歩道・車道の分離(通学路の安全) 自治会の防犯活動	クリーン作戦 公園の整備、遊具のメンテナンス	子どもの一時預かり 子どもの居場所 保護者と子どもの居場所 保護者の集まれる場所 便利な店舗の存在 子どもと保護者イベント	コミュニティの担い手の不足	適切な広さを持つコミュニティ施設が必要 (場所:すみれが丘中央公園が最適)	
高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち	すみれサロン ラ・ビスタよりあい広場 宝塚御殿山北よりあい広場	ラ・ビスタささえ愛ネットによる生活支援 ネットワーク会議や運営委員会を通じた課題解決の仕組み 民生児童委員の活動 健康づくり推進員の活動 いきいき百歳体操	市内一斉防犯活動 地域防犯パトロール 自治会の防犯活動	花壇整備 公園アドプト制度活用(すみれが丘南公園、御殿山第3公園)	障がいについて理解 ラ・ビスタよりあい広場をもっと広く、もっと長時間オープン バス便の創設(宝塚御殿山北地区) 便利な店舗の存在 よろず相談所が欲しい	コミュニティの担い手の不足 ラ・ビスタよりあい広場の閉鎖(代替施設が必要)	適切な広さを持つコミュニティ施設が必要 (場所:すみれが丘中央公園が最適)	
災害に強くみんなで助け合えるまち			各自治会及び防災組織における仕組みづくり 防災活動、防災訓練		コミュニティとしての防災の仕組みづくり			

## ■『具体的な取り組み』への展開

表 1 を見るとそれぞれの重点課題について、すでに実に多くの活動が実施されていることがわかります。これらの活動は一朝一夕に実現したものではなく、長い期間の努力のたまものです。いくつかの活動については宝塚市内においても「先進的」と評価を受けています。(表 2)

したがって、「現状活動の継続と発展」も具体的な取り組みにおいて忘れてはならないことがらといえます。「現状活動の継続と発展」「現状活動の阻害要因への対応」および「新しいニーズへの対応」が具体的な取り組みの内容となり、合わせて表に表示しています。

表 2 コミュニティすみれにおいて定着している先進的活動(イベント的活動から日常の活動へ)

番号	活動タイトル	主催	活動内容	備考
1	生活支援(お困りごと解決)活動	ラ・ビスタささえ愛ネット	登録ボランティアによるお困りごと解決支援	ゴミ出し、重い家具の移動、他
2	宝塚市きずなの家 「ラ・ビスタよりあい広場」の運営	ラ・ビスタささえ愛ネット	地域の拠点として、ほぼ毎日のサロン開催や諸グループの会合に使用	誰もが気軽に利用できる場所であるとともに、地域活動の担い手のための拠点の意味も大きい
	「宝塚御殿山北よりあい広場」の運営	宝塚御殿山北自治会	週 1 回 13:30~16:00 宝塚御殿山北自治会集会所にて開催 登録ボランティアが運営 コープの移動店舗と連携	子どもから高齢者や障がい者も参加
3	小学校における児童、教師、保護者支援	学校応援団、他	学びやすく、教えやすい環境実現のための種々のお手伝い	学校の信頼を得て、コミュニティスクールをスタートすることができた
4	地域の課題解決のための仕組みとしてのネットワーク会議・運営委員会運用	コミュニティすみれ	単なる学習、情報共有にとどまらず、地域の課題解決に向け、多くの関係者のかかわりを必要とする具体的活動を行う	「つながり作りガイドブック」を発行した
5	地域が協力するいろいろな教育支援活動	コミュニティすみれ	諸分野において授業を補完する教育支援活動	昔遊び、もちつき、工作教室、料理教室、星の観測会など

## ■重点課題について活動を継続し新しいニーズに取り組むための課題・リスク

現行まちづくり計画の実施状況は、前述のように実行されている項目が多く、現在実施している活動を継続することも非常に重要との認識を得ました。人口動態を見て、子育て世代の誘致をするために「子育てしやすいまち」にしていくこと、高齢者や障がい者がこのまちでずっと暮らし続けることができるよう「安心して暮らせるまち」にすること、さらに校区全体としての防災に取り組んでいく体制をつくることは、検討メンバーも、高齢者や小学生保護者を含む一般の方、中学生、小学生の皆様に行った将来どのようなまちにしたいかのアンケート調査結果でも一致するところでした。

この重点課題についての具体的な取り組みを検討する過程で、「コミュニティ施設建設」と「コミュニティの担い手の拡大」の必要性がクローズアップされました。

当地域の住人の約90%が暮らすすみれが丘地区において、現状の拠点（各棟集会室、管理センターなど）は棟の管理組合が所有しており、「日常の活動」というコミュニティのニーズには対応しにくい点があります。また、市から活動拠点としてすみれが丘小学校に「クラブハウス」を設置していただきましたが、平日授業がある時間帯は使うことができないという制約があります。気軽に集まることができる拠点として設置した「ラ・ビスタよりあい広場」も補助金が終了となる2021年11月以降、どのように存続させるかを検討する必要があります。閉鎖の可能性が高くなっており、「日常の活動」を可能にする拠点の整備が当地域の最大の課題であり、まちづくり協議会を先頭に自治会、管理組合へ働きかけながら対応していく必要があります。

## ■今後のまちづくりの基本目標

以上の検討結果を踏まえて、次の4つを今後のまちづくりの基本目標と設定します。

子育てしやすいまち	高齢者や障がい者が 安心して暮らせるまち	災害に強くみんなで助け合えるまち	活発なコミュニティ活動を支えるまち
-----------	-------------------------	------------------	-------------------

## 【<sup>まち</sup>地域の将来像】

誰もが住みたくなるまち、住み続けたいまちの実現を目指します。そのため具体的な将来像として、次の6点を掲げます。

1. 多世代が諸活動に参加することにより、顔の見える関係が広がっている。
2. 福祉をはじめとする諸課題に対し、多くの関係者が解決にむけて協力する仕組みがある。
3. 防災の仕組みが整い、顔の見える関係も寄与して災害に強い安心・安全のまちとなっている。
4. 公園が整備され、緑化・美化が行き届き、自然と共生するまちとなっている。
5. 子どもたちの歓声が響き、すべての世代に活動力があふれている。
6. 地域の中央に拠点ができ、既存の拠点とともにコミュニティ活動が盛んになっている。地域にコミュニティ活動を応援する文化がある。

## 【基本目標】

### 1. 子育てしやすいまち

当地区では14歳以下の住人が減少していますが、将来にわたり活気のあるまちを維持するには、子育て世代が魅力を感じて転入を希望するようなまちづくりが最も重要な視点の一つと考えました。「こんなことがあれば子育てしやすい」について、子育て中の、また子育てを終わったばかりの保護者から、「緊急的な子どもの一時的預かり」「子どもが遊べる屋内施設」「子育て世代が集まれる場」などの思いが出されました。(資料表3参照) 新たなニーズに対応できることについては、少しずつ年次計画策定時に検討し、織り込みながら定着していくこととします。

多くのことからは、コミュニティ施設があれば実現に向けて大いに前進することがわかり、「コミュニティ施設」実現については、新たに基本目標を設けて対応することとしました。(基本目標4)

### 2. 高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち

高齢者や障がい者が地域の活動の輪の中に自然に入っていけるようにすることが、安心して暮らせることに通じると考えています。2014年1月に宝塚市きずなの家「ラ・ビスタよりあい広場」が開設されたことで地域活動の核ができ、高齢者や障がい者の顔の見える関係も広がってきています。お困りごと解決をお手伝いするボランティア団体“ラ・ビスタささえ愛ネット”も設立され、見守りの対応能力も確実に広がってきています。また、福祉のしくみとして“ネットワーク会議”も寄与しており、今後それぞれ活動範囲を広げていくことが目標実現の道筋と考えられます。

ところが、「ラ・ビスタよりあい広場」は2021年11月に補助金が打ち切られることにより、存続が不可能となる状況があります。「よりあい広場」は種々の活動のキーとなる場所であり、これに代わる拠点が無い場合はまちづくりに重大な悪影響が避けられません。代替拠点としての「コミュニティ施設」については新たに基本目標を設けて対応することとしました。(基本目標4)

### 3. 災害に強くみんなで助け合えるまち

防災はまちづくりにおける基本です。本地区は大きく分けてすみれガ丘地区と宝塚御殿山北地区で構成されていますが、防災についてはそれぞれの地区の自治会が対応してきました。しかしながら、例えば避難所運営や救援物資の分配その他、単独の自治会では対処しきれない課題があるため、まちづくり協議会での対応が必要であることが明らかになってきています。これまで形成してきたそれぞれの自治会のしくみを最大限生かしつつ、必要な部分を補足しながら、まちづくり協議会としての防災組織を作っていきます。

### 4. 活発なコミュニティ活動を支えるまち

上記1、2の基本目標を達成するにはニーズに見合う「コミュニティ施設」が必要です。すみれガ丘小学校の「クラブハウス」や各棟集会室、管理センターは「日常の活動」というコミュニティのニーズに対しては限界があります。「ラ・ビスタよりあい広場」は「日常の活動」には対応できますが、面積が狭く利用者が限られるという課題があり、しかも閉鎖の可能性が高くなっています。「日常の活動」を可能にする、適切な広さを持つ拠点の取得が当地域の最大の課題であり、まちづくり協議会を先頭に自治会、管理組合の協力を得ながら対応していきたいと考えます。

コミュニティ活動のためにはその担い手も必須です。近年活動の担い手が高齢化してきており若い層の補充が課題となっていますが、「活動」こそが担い手を生むということもあり、その意味でも「コミュニティ施設」の取得が当地区のまちづくりのための最大の目標と言えます。

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
1. 子育てしやすいまち	1.先進的活動を含む現状活動の継続											PTA、学校応援団、民生児童委員、補導委員など、コミュニティスクール		
	1	あいさつ運動	○								○			
	2	異世代交流の諸活動	○								○			
	3	盆踊り、フェスティバル、諸祭りを通じたふれあい	○								○			
	4	地域が協力する諸教育活動	○								○			
	5	市内一斉防犯活動	○								○			
	6	地域防犯パトロール	○								○			
	7	学校との連携・諸見守り活動	○										○	
	8	クリーン作戦	○								○			
	9	公園の整備、遊具のメンテナンス	○										○	
	10	自治会が主催する地区別棟別イベント	○								○			
2.既存拠点を利用した新規活動														
1	年度計画時に検討		○							○				
2. 高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち	1.先進的活動を含む現状活動の継続													
	1	すみれサロン	○								○			
	2	ラ・ビスタよりあい広場	○										○	
	3	宝塚御殿山北よりあい広場	○								○			
	4	諸グループによるスポーツ活動、趣味の活動	○								○			
5	盆踊り、フェスティバル、諸祭りを通じたふれあい	○								○				

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
2. 高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち	6	ラ・ビスタささえ愛ネットによる生活支援	○								○			
	7	ネットワーク会議や運営委員会を通じた課題解決の仕組み	○								○			
	8	障がいについての学習、ネットワーク会議を通じた取り組み	○								○			
	9	障がい者への行事参加の呼びかけ	○								○			
	10	民生児童委員の活動	○								○			
	11	健康づくり推進員の活動、いきいき百歳体操	○								○			
	12	市内一斉防犯活動	○								○			
	13	地区防犯パトロール	○								○			
	14	花壇の整備	○								○			
	15	自治会が主催する地区別棟別イベント	○								○			
	16	公園アドプト制度の活用	○									○		すみれが丘南公園 御殿山第3公園
	<b>2.既存拠点を利用した新規活動</b>													
	1	年度計画時に検討		○							○			
	<b>3.新しい活動</b>													
	1	無人コミュニティバス導入検討		○									○	総合計画見直し時から検討開始

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
3. 災害に強くみんなで助け合える安心安全のまち	<b>1.防災</b>											宝塚小学校区との連携も考慮		
	1	コミュニティ防災委員会設置		○	→						○			
	2	コミュニティ防災マニュアル作成		○	→	→							○	
	3	総合防災訓練の実施		○	→	→	→						○	
	<b>2.交通安全</b>													
	1	道路の安全点検		○	→								○	
	2	歩道の改善（幅拡大、凹凸是正）		○	→	→	→						○	
3	自転車などの交通ルールの徹底		○	→	→	→					○			
4. 活発なコミュニティ活動を支えるまち	<b>1.コミュニティ施設建設</b>													
	1	検討チーム結成		○	→						○			
	2	実施案作成		○	→	→						○		
	3	地域の同意取得		○		☆					○			
	4	行政との合意		○			☆				○			
	<b>2.コミュニティ情報の収集・発信</b>													
	1	広報紙「コミュニティすみれ」の発行	○		→	→	→					○		
	2	情報発信要領の検討と発信拡充	○		→	→	→					○		
	3	「つながり作りガイドブック」の改訂	○		→	→	→					○		
	<b>3.担い手育成</b>													
1	担い手育成のあり方検討		○	→	→	→					○			

## 【あしがき】

まちづくり計画の見直しに際し、最初に実施したことは現行まちづくり計画の実施状況の確認です。2018年2月に29名の参加者により実施状況を確認しました。将来どのようなまちにしたかのアンケート調査では、高齢者や小学生の保護者を含む一般の方、中学生、小学生の皆様から合計で700を超える回答をいただきました。「子育て世代」「高齢者・障がい者」については子育て中、あるいは子育てを終わったばかりの保護者、高齢者の方々の出席のもとで具体的な対応についてご意見をいただきました。ご協力いただきました皆様にあらためてお礼を申し上げます。

まちづくり計画の見直し活動を通して、これまでの活動や今後の方向が整理され自信をもって進めるようになったことを喜ぶとともに、諸先輩のこれまでの努力に感謝する次第です。

今後は、今回策定しました行動計画に従い、誰もが住みたくなる・住み続けたいまちの実現に向けて務めてまいりたいと思います。

まちづくり計画の見直しに関わってくださった方

川上 操	板東 克子	野田久美子
竹原 綾	小西喜美代	松本 好一
押条 雅英	田山眞知代	松永 致和
丸田香代子	細田千江子	島津 早苗
水野 謹一		

宝塚市社会福祉協議会

御殿山地域包括支援センター

アンケート調査等にご協力いただいた方

ラ・ビスタ宝塚団地自治会

宝塚御殿山北自治会

すみれガ丘小学校 2018 年度在学児童・保護者

すみれガ丘小学校および御殿山中学校 PTA 有志

御殿山中学校 2018 年度在校生

ラ・ビスタすみれクラブ

あすなる会

ラ・ビスタささえ愛ネット

宝塚市社会福祉協議会

御殿山地域包括支援センター

## 【資料】

(別冊) 資料 1 まちづくり計画のためのアンケート調査結果の報告

表 3 こんなことができたら子育てしやすい

	こんな場合	目的	預かり時間	子どもの年令	突発性	預かる時間帯	現状どうしている	行政仕組み有る？	備考	対応に必要な		
										人	場所	お金
子どもの一時預かり	母親が病気の時	保護者の時間を作る。 保護者が対応不能のため代わりに対応	2～3 時間	未就園児	突発的	夕方まで			有料でも構わない			
	母親の急な用事		2～3 時間	未就園児	突発的	夕方まで						
	仕事中の警報発令時など		18 時まで	小学生まで	突発的	夕方まで						
	保護者が休憩したい時		3～4 時間	未就園児	ある程度予測できる	夕方まで						
	参観日、懇談会のこども見守り		1～2 時間	未就学児	予定決まっている	夕方まで	ささえ愛ネットに対応中		幼稚園行事でもやってほしい	ささえ愛ネットで対応中		
	長期休みの間の一時預かり		18 時まで	小学生まで	ある程度予測できる	夕方まで						
									保育園病氣中保育？			
子どもの居場所	放課後雨天時に遊べる室内			小学生まで		夕方まで						
	長期休みの間の室内遊び場			中学生まで		夕方まで						
	自習できる場所がほしい			中高生まで		夕方まで						
子ども＋保護者の居場所	子ども＋保護者のグループが自由に活動できる場所がほしい	グループ活動により保護者の子育ての負担を減らす										
	未就園児の集まりがあればいい						サークルはある					
	子ども会がほしい											
保護者の集まれる場所	各種教室があるといい											
近くにほしい店舗・施設	・ドラッグストア ・ファンシーショップ ・お弁当や総菜が買える店 ・万代のようなスーパー ・眼科、皮膚科などの病院 ・学習塾											
子ども＋保護者向けイベント												

表 4 平成 17 年まちづくり計画の実施状況確認結果(29 点満点)

2018 年 2 月 16 日実施

施策	具体的な内容	確認
まちづくりの第一歩はあいさつから	あいさつ運動を起こす	地域 28
	子どもにあいさつ運動のポスターをつくってもらい、地域に広めていく	地域 28
	学校、PTA、補導委員、民生児童、自治会、婦人会、老人会、ペット倶楽部等各団体に協力を呼びかけて、地域ぐるみで挨拶運動を起こす	地域 21
ふれあう機会を多様に作る	コーラス、サロンとその他のイベントを一層充実させ、交流を増やす	地域 20
	各棟の集会所をもっと気軽に使えるようにする	地域 12
	学校や企業との連携を図る	地域学校 23
	親子（特にお父さん）対象のイベントをふやす	地域 0
	すべての世代が一緒に参加できる盆踊り、千吉おどり、ふれあいフェスティバルなどを活性化し、異世代交流を図る	学校 29
	様々な人が集まり衆知を集め、悩み事が相談できる場をつくる	行政地域 0
	地域の総合的なホームページを作成する	地域 2
	行政情報、地域情報の一元化と共有を図る	行政地域 0
コミュニティの担い手を育てよう	人材バンクの立ち上げをする	地域 0
誰もが快適に住み続けることのできるまち	「スポーツ 21 すみれガ丘」を活発化し、誰もが手軽に身近なところでスポーツを楽しむ環境をつくり、異世代交流の輪を広げる	地域 22
	子育て学習、昔話、昔遊び、童話、トライやる・ウィーク等による異世代交流の輪を広げる	地域 23
	新たな集会所の建設を行う。 中央公園グラウンド一角に異世代交流やスポーツのできる集会所、サウステラス前の空地の集会所、ノース 3 建設の際には集会所も組み込む	行政 0

施策	具体的な内容	確認	
子どもや障がい者、高齢者を地域で支える温かみのある福祉のしくみづくり	すみれサロン、すみれクラブ、あすなる会等を活性化して、お年寄りが気軽に参加して楽しめるようにする	地域 29	
	他の地域とも親善交流を深めて輪を拡大する（グループホーム）	地域 1	
	インターネット、ラビスタネット、掲示板の利用やポスティング・ボランティアにより、タイムリーな健康福祉・教育文化情報の発信を行う	地域 6	
	子どもたちを家族と地域で守るために「地域の危険マップ」をつくる	地域 9	
	子どもや親のニーズに合った子ども会にする	地域 0	
	御殿山地区は子ども会を再生する	地域 0	
	ラ・ビスタ地区は子どもが自由に集える場所作り	地域 7	
	御殿山よりあい広場で地域ボランティアを養成する（カーボランティア、学生ボランティア、等）	行政地域 0	
	エコマネー登録者のコーディネートと人材活用を図る	行政地域 0	
	地域と学校との交流をもっと活発にする ・学校開放や PTCA の一環として宝塚北校の福祉クラブと地域活動を結び付ける ・小学校による星花苑での福祉実体験を地域に周知し、地域の活動に結び付ける	学校地域 6	
	70 歳以上はバス無料化にする	行政 0	
	サウス前に保育所を設ける	行政 0	
	地域ボランティアの養成	準備委員会の立ち上げ ボランティアの依頼 小・中・高・大学生のボランティア募集	地域 11
	「ストップ・ザ・自然破壊、ほほえむ緑化運動」の推進による、自然と共生するまちづくり	花、鳥、昆虫を載せた「地域自然マップ」や「わがまちの施設マップ」作成、緑化活動につなぐ	地域 14
		土砂の流出を防ぐための緑化を行う ・適切な低木の剪定 ・アレルギー対策、ムカデ対策、死角対策等を考慮した緑化対策	行政地域 2
公園の樹木や街路樹に名札をつけたり、鳥、樹木の案内板の設置を行う		行政地域 23	
	公園に記念植樹を行う	地域 0	

施策	具体的な内容	確認
花があふれ、四季の変化が楽しめるまち	自然に関わる多様なイベントを開催する ・バードウォッチングやハイキング、花を見る会、星を見る会	地域 23
	タウンウォッチング、公園ウォッチングを親子で行い、自然を大切に作る気風と樹木への関心を高める	地域
	地域内の斜面に四季折々の草花を咲かせる	地域 0
	公園花壇をふやす（東公園、北公園）	地域 24
	斜面の花（防虫菊、さくいも、野草） 公園（枯れ木の後に植栽、梅など）	
花見の宴	協力団体と打合せ 棟ごと？	地域 9
地域のあらゆる住民がゆったりとくつろげる快適な公園づくり	まちの美化運動への取り組みを充実する ・公園の定期的清掃 ・美化啓蒙活動の一環として看板を設置 ・ごみだしのマナーとルールの徹底	地域 25
	ペット飼育のモラル向上を図る	地域 13
	行政と相談して公園のごみかごの撤去を行う	行政地域 完
	公園のベンチも行政と相談しながら補修し、きれいにする	行政地域 17
	公園工房の設置（ペンキ塗り、看板づくり、NPO大募集）	行政地域 0
高齢者、障がい者にとって住みやすいバリアフリーのまち	管理センターにスロープをつける	地域 0
	子どもたちのバリア研究を地域福祉活動に生かす	学校地域 0
	地域内のバリアを調べ、改善を図る	行政地域 8
	歩道や坂道の途中に休憩用ベンチを設置する	行政地域 22
	サウス～ウエスト間に斜降エレベーターを設置	地域 0
	歩道、道路の補修をする	行政 15
	ラ・ビスタ～御殿山間に道路を設ける	行政 0
御殿山地区の道路を行政に移管して整備する	行政地域 0	
まちの美化活動	階段の水溜りをなくすなど、施設管理を徹底する	行政 0
	公園内の看板設置（ごみ持ち帰り、ペットのフン処理）	地域 5
新規入居者に対し通知連絡（ペットクラブへの入会）	新規入居者に対し通知連絡（ペットクラブへの入会）	地域 15

施策	具体的な内容	確認
思い出のベンチ	公園緑地課、道路管理課その他関連部署に、設置について問題点を聞き整理	行政地域 1
防犯・防災の第一歩は、近所のコミュニケーションから	警察、学校、PTA、補導委員、民生児童、老人会、婦人会等と協力して防犯パトロールの強化を図る	行政地域 29
	朝夕の声かけ運動を活発にする（スマイル作戦） 小動物の虐待についても注意を払い、犯罪を予防する	地域 0
	家庭内の防災の取り組みを進める 家族の行動、避難場所・避難方法などを日ごろから話し合っておく。非常持ち出し品の点検も行う	地域 1
	防災訓練を徹底して行う	地域 22
	ノース3建設予定地の美化等の環境整備を行う	地域 —
	夕刻にラ・ビスタと御殿山で歌声を流して帰宅時間を知らせる	行政地域 0
	死角をなくす（ウエスト南斜面、エスティオ北側、御殿山貯水槽周辺）	行政地域 3
	防犯灯をふやし、不必要な街路樹の枝葉を落として明るい歩道にする	行政 25
守ろう！交通ルール	絶対守ろう「一旦停止」、歩行者なくても「一旦停止」を徹底する	地域 0
	坂道とカーブが多いので、速度を抑えて安全運転の推進 事故多発場所（サウス北、御殿山北）での安全運転の徹底 わき見、ながら運転の禁止	地域 5
	三叉路にミラーを設置する（すみれが丘2丁目）	行政地域 信号機済
	横断歩道の見直しを行う（すみれが丘3丁目西公園前）	行政地域 完
	サウス前の空き地を駐車場に活用する	行政 不可
優しい交通サービス	交通不便地域（御殿山）の「生活の足づくり」を実現する（動物霊園バスの活用）	行政地域 利用者無
	ノンステップバスの運行を実現する	行政地域 26